

地域包括 かこがわ便り

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

令和3年末に行われた人生会議のご支援を3つご紹介いたします



1 加古川町内多職種連携研修会



10月21日、加古川市総合福祉会館にて加古川町内多職種連携研修会を開催いたしました。「西村先生と考える地域での看取り ～一人ひとりの、望む暮らしを最期まで実現する方法～」と題し、西村医院の西村正二先生をお招きし、在宅看取りについてご講演をいただきました。緊急事態宣言が解除され、ケアマネさん以外にヘルパーさん、デイサービス職員さん、訪問看護師さん、病院の相談員さん、薬剤師さん、移送サービスのボランティアさんなど、様々な職種の方が63名もお集まりいただきました。西村先生は、人生の最期は幸せに迎えること、そのために自分自身が幸せにいること、「**幸せ**」を感じることから始まると語られました。参加者からは、人生の最終段階の治療やケアについて家族と話し合いを重ね、将来の変化に備える**人生会議（ACP）**について「**今からでも家族と話し合ってみたい**」とのご意見があがり、「人生の最終段階」について深く考える時間を得ることができました。久しぶりのグループワークでは、みなさまいきいきと語っておられました。幸せの近道は「**やさしくなること**」との先生の言葉が心に残る研修となりました。



2 氷丘民生児童委員協議会研修会



11月19日、氷丘民生児童委員協議会から依頼を受け、**人生会議**について研修会を開催しました。終末期には自身の意向を伝えることが難しくなるため、**元気な時から人生会議**をしていく必要性や、また、コロナ禍によりそれぞれの死生観も変化し、高齢者だけでなく、**若い世代**においても考えることの重要性などをお伝えしました。その後にも**もしバナゲーム**を実施して、人生の最終段階について自身の思いを振り返っていただきました。「**ゲームをすることで考えるきっかけになった**」「**今の私の想いを早速家族と話し合ってみます**」と嬉しいご意見をちょうだいし、終末期においては「**寄り添うこと**」の大切さを共有して研修会を終えました。今後も高齢者の身近な存在である民生委員さんとの連携を深めて「**最期までその人らしく生き抜く**」ご支援に努めていきたいと思ひます。

3 介護ほっとカフェ

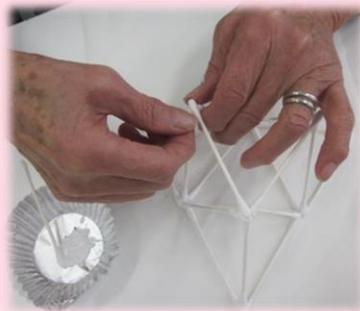
12月10日、介護ほっとカフェにて「**もしバナを考えてみませんか？**」と題し、みなさまで終末期の医療やケアについて考える機会をもちました。これからの人生をどう生きていきたいか、どこでどんなケアを受けてどのような最期を迎えたいか、普段なかなか想像できませんが、「**もしバナゲーム**」を通して考えるきっかけをもていただくことができました。「**最期は自宅が良いな**」「**痛みが少なく過ごしたいな**」「**大切な人と話したいな**」など、じっくりと真剣にカードを選ばれていました。自身の価値観や気持ちを整理して知ることによって今後の生き方についても前向きにとらえることができました。また、意向を周りに伝えておくことで、ご自身とご家族の安心にもつながります。今後もみなさまに**人生会議を始めるきっかけづくり**ができるように考えていきます(*^▽^*)



オレンジサロン（認知症予防教室）

緊急事態宣言中はオンラインで開催していましたが、10月から通常通りの**対面開催**となりました。11月は「**わくわく綿棒アート**」を通じて手先を動かすプログラムをご提供し、「**星形正八面体・マカバ**」に取り組んでいただきました。なかなか接着しないので、みなさま四苦八苦されていましたが、約1時間**頭も手もフル回転**し、ステキなマカバが完成いたしました。「**楽しかったわ**」「**家でも作ってみます**」「**いい脳トシになったわ**」と嬉しい感想をいただきました。

今後も楽しいことやお役立ち情報を交え、**認知症予防の啓発**に努めていきたいと考えております。オレンジサロンは**毎月第2木曜日13時30分**から総合福祉会館で開催しています。みなさまのご参加お待ちしております。



楠木平町内会 個別避難計画促進事業

近年では毎年のように**大きな自然災害**が発生し、全国各地で甚大な被害をもたらしています。自身で避難できない人の命を守るために、令和3年5月から**個別避難計画作成**が市町の努力義務となりました。そこで名乗りを上げていただいた楠木平町内会での話し合いに、各関係機関から多数の方が参加され、包括職員も参加しました。町内会や地域住民、相談支援専門員やケアマネジャー、避難に支援を要する当事者も参加され検討し、今後も話し合いを重ねて**避難場所までの経路を一緒に確認**しに行くことになりました。始まったばかりの事業ですが、防災への備え、意識につながり災害を最小限に留められればと切に願います。また包括内でも共有し、**専門職の意識づけの向上**にもつなげていきたいと思ひます。



認知症サポーター養成講座

今年も**但陽信用金庫**さんからご依頼をいただき、新入職員さん向けに講座を開催いたしました。感染防止対策として、講師役のキャラバンメイトは選りすぐりの3名のみの出務。認知症の病気の理解、対応のポイントと心構えの講義の後、DVDにて、銀行の窓口対応の事例を観ていただきながら、好ましくない対応についてはどの



ようにすれば改善できるのかをワークしていただき、業務に必要な要点を押さえた適切で親切な対応を共有しました。新たに**29名のサポーター**が誕生し、笑顔を絶やさずにやさしいゆっくりとした言葉がけで、窓口で**オレンジリング**を片手に光らせながら、頑張ってください！

介護ほっとカフェ リフレッシュバス旅行



10月22日、毎年恒例の介護ほっとカフェ**リフレッシュバス旅行**を実施しました。前半は愛知県岡崎市の認知症の人が働かれている沖縄料理店「**ちばる食堂**」とオンライン会談をさせていただきました。「**認知症になっても環境さえあればできることはたくさんある**」という代表者様の強いお気持ちのもと、認知症の人の雇用の場として開業されています。大事なポイントは「**周りが手伝いすぎず従業員の方を信頼すること**」「**人とのつながりを大事にすること**」とお話を伺いました。途中で従業員の方の生のお声や、ちばる食堂ならではのおもしろエピソードなど笑いもありながら、充実した内容で会談を終えました。コロナ禍だからこそオンラインを活用して**遠く離れた人ともつながりをもつ**ことができ、有意義な学びの時間となりました。後半は福祉バスにて**神戸フルーツフラワーパーク大沢**へ行き、昼食とフリータイム♪ご夫婦で参加して下さった方もおられ、日頃の介護の合間でリフレッシュできる時間となりました。

